

広報

かたしな

KATASHINA

4月

No. 561

平成17年(2005年)

発行

片品村役場

も
く
じ

尾瀬の郷構想	2・3
新年度予算が決まりました	4・5
ニュース	6~9
新役員紹介・学校人事異動	10
教育長就任のご挨拶・役場人事異動	11
匠・他	12
広報文芸・バック先生の英語教室・他	13
おしらせ	14~17
いたずらわんぱく・フレッシュヤング・他	18

君たちとともに希望をもって..



片品小学校卒業式後の皆さん (3/24)

“小さくても輝く珠玉の村”を目標して

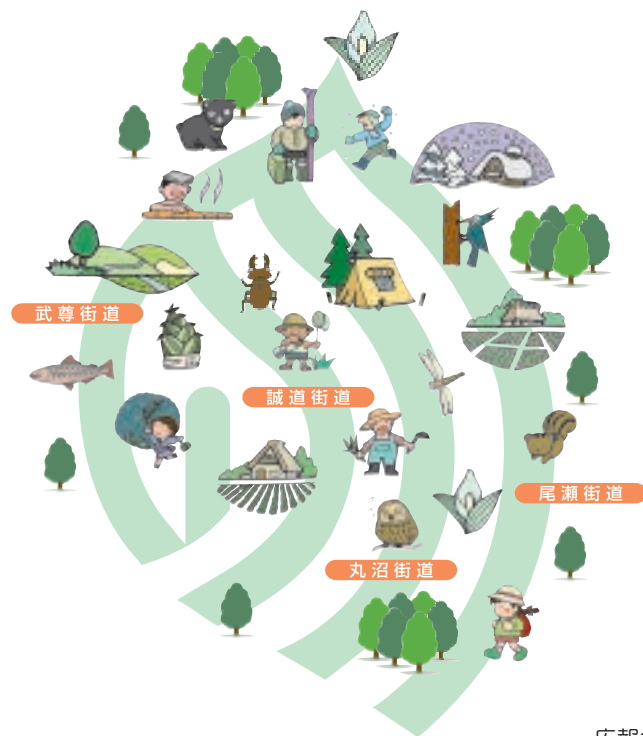
人口と世帯(平成17年3月1日現在)世帯数 1,754世帯(-3) 男 2,883人(-4) 女 3,016人(-1) 計 5,899人(-5)



豊かな自然環境資源を

生かした村づくり

これまでも、そして今も、村の特色・大切にしたいものとしてこの豊かな自然環境をあげる人が圧倒的に多くいます。今年はこのこれまでの総合計画が最後の年となり、新たな総合計画づくりの年です。大自然の豊かな資源を生かした「尾瀬の郷」構想を将来計画に盛り込みたいと思っています。



新総合計画に「尾瀬の郷」構想



村民の皆さんと力を合わせて実現を

合併問題も「自主自立」と決まりました。そして、各地区を中心に小さな自治の取り組みも始まりました。村の将来計画である総合計画の見直しを昨年に行っていて、今年は大詰めの年です。村民の皆さんと大いに議論し英知を出し合い、いっしょに新しい村づくりを推進していきたくと考えています。そのキーワードは、この豊かな「自然環境」にあると考えます。その環境を生かした暮らしや経済活動が大切です。村には全国的に有名な「尾瀬」があり、村外から見ると、片甲そのものが「尾瀬」と捉えられているのではないのでしょうか。

そこで、私たちが生活するこの村全域を「尾瀬の郷」として、そのイメージを確立し、経済戦略を立て、暮らしの基礎を築きたいと思えます。農業や観光など、尾瀬の郷ブランドとして広くアピールし、付加価値を高めていきたいと考えています。そして、農産物や加工品をはじめ、料理や温泉、おいしい水、林業や商業、何気ない暮らしに至るまで、村民が誇りを持ってアピールできる村を築いていきたいと思えます。



「自主・自立」の村づくりのため構想を実現したいと熱っぽく語る星野賢二村長

では、将来を担う子どもたちへの教育や、進む高齢化社会に対処するためのきめ細かな施策が必要であると考えます。

地方財政を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。片甲村においても例外ではありません。財政の健全化に向けて職員が一丸となり取り組んでいますが、それを実行するためには、村・議会・村民が一致協力して、お互いに痛みを分かち合いながら推進することが必要です。お金がないところは、皆さんの知恵と体力をお借りし補いたいと思います。これまでさまざまな場での私や村に対する意見・提言、小さな自治でのワークショップ内容、村外の応援者からのご提案など、多くの皆さんの声をお聞きした結果に基づき、私は「勇気と決断」をもって、この構想実現に邁進していきたいと思えます。

小さくても輝く珠玉の村を目指して、がんばります。

目指したい「尾瀬の郷」構想の具体例

- ◆歴史を生かした村づくり
 - ・昔使っていた街道の復活
 - ・歴史的価値のある資源の保存と公開
- ◆環境に優しい村づくり
 - ・環境宣言
 - ・へぎ等の使用を促進
 - ・水をきれいにしてくれる森林と滝（観光名所としても）
 - ・自然を生かした村づくり
 - ・ネイチャーガイドの養成と活用
 - ・自然散策コースの開発
 - ・尾瀬を唄う音楽祭の開発
 - ・手づくりマップの作成（地元資源の発掘、活用）
 - ・峠道の活用（景色・湧き水・石仏・小鳥のさえずり）
 - ◆農作物のブランド化と開発
 - ・大豆の生産、加工
 - ・山ウド、フウキノコ等の栽培加工
 - ◆安全・安心野菜と加工品の開発
 - ・尾瀬わさび等の開発
 - ◆観光事業への新たな視点
 - ・休耕田等を活用した都市交流農村体験
 - ・森林と温泉を活かした健康増進事業の開発
 - ・ぐんま文化観光社片品の活性化
 - ◆若者がいきいき活動できる村づくり

- ・農業後継者の育成（農業の魅力を再確認）
- ・村内企業の育成と企業誘致
- ・若者活動の拠点づくり
- ・村外の若者との交流促進
- ◆安全で安心な少子・高齢化事業
 - ・余裕教室等を活用しての子どもと高齢者のふれあい事業の開催
 - ・文化センターの活用促進（展示会・発表会・交流会）
 - ・図書室の充実
 - ◆役場改革の推進
 - ・職員の自己改革の促進
 - ・電話の「はい、尾瀬の郷」片品 村です」の対応
 - ・さまざまな施策や事業を通して、「尾瀬の郷」片品を内外にアピールし、実現化へ向けて検討していきます。そして、厳しい財政状況の中、事務事業の面では徹底した効率化と簡素化を進め、出来るものから実現していきたいと考えています。



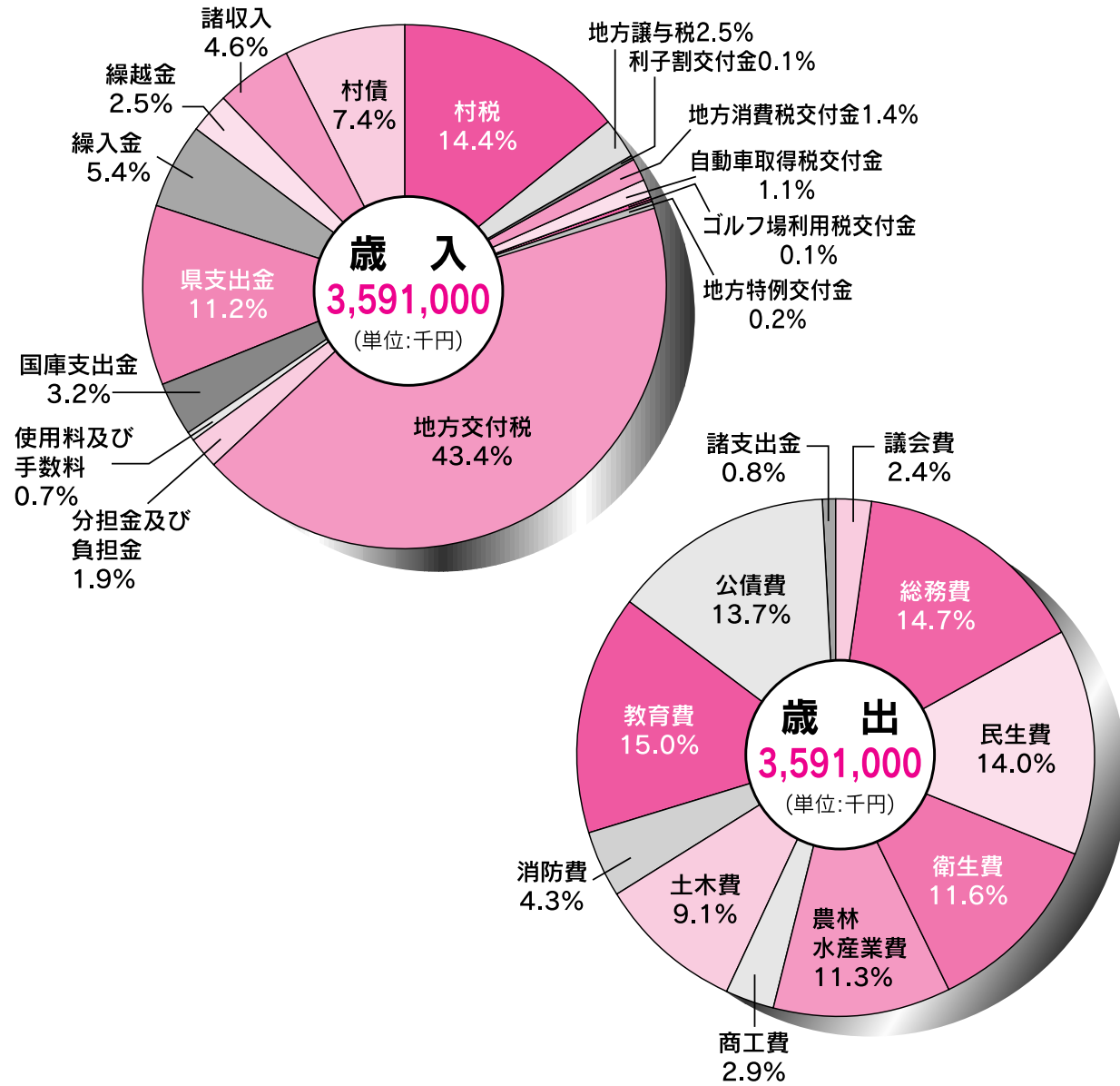
活発な「小さな自治」活動

「尾瀬の郷」構想に対するご意見をお気軽に寄せください
 構想に対するお問合わせやご意見、ご提言などは、役場むらづくり観光課（電話 58-2112）へ。

握るのは、役場ではなく、村民の皆さんのご理解とご協力であります。「尾瀬の郷」片品を村民の皆さんと共に育て、私たちの子や孫の時代にも誇れる村にしたいため、全力で村政推進にあたっていきます。

一般会計前年度比 0.5%増

平成17年度の一般会計及び特別会計の予算は3月9日開会の定例村議会において、きめ細かい審議の末3月22日原案どおり可決いたしました。一般会計の予算は35億9千1百万円で前年度に比べ0.5%の増となりました。



の35億9千1百万円

歳入 歳入では、村税、村債等が減額となっています。又、国・県支出金等が増額となり全体で1千7百万円の増額となっています。(単位:千円)

款	本年度予算	前年度予算	比較増減	伸率
1. 村税	515,447	548,048	32,601	5.9%
2. 地方譲与税	90,000	83,000	7,000	8.4%
3. 利子割交付金	3,000	5,000	2,000	40.0%
4. 配当割交付金	300	300	0	0.0%
5. 株式等譲渡所得割交付金	150	150	0	0.0%
6. 地方消費税交付金	50,000	50,000	0	0.0%
7. 自動車取得税交付金	40,000	40,000	0	0.0%
8. ゴルフ場利用税交付金	3,000	5,000	2,000	40.0%
9. 地方特例交付金	7,000	9,000	2,000	22.2%
10. 地方交付税	1,550,000	1,550,000	0	0.0%
11. 交通安全対策特別交付金	1,600	1,600	0	0.0%
12. 分担金及び負担金	68,893	69,174	281	0.4%
13. 使用料及び手数料	24,797	25,898	1,101	4.3%
14. 国庫支出金	116,515	98,861	17,654	17.9%
15. 県支出金	401,001	284,438	116,563	41.0%
16. 財産収入	3,411	12,306	8,895	72.3%
17. 寄附金	1	1	0	0.0%
18. 繰入金	195,258	200,445	5,187	2.6%
19. 繰越金	90,000	90,000	0	0.0%
20. 諸収入	163,627	151,779	11,848	7.8%
21. 村債	267,000	349,000	82,000	23.5%
歳入合計	3,591,000	3,574,000	17,000	0.5%

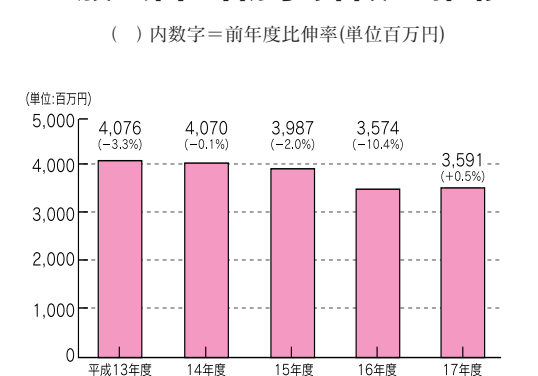
歳出 歳出では、土木費、公債費、諸支出等が減額となっています。又、総務費、民生費、教育費等が増額となっています。(単位:千円)

款	本年度予算	前年度予算	比較増減	伸率
1. 議会費	85,069	85,801	732	0.9%
2. 総務費	528,412	498,052	30,360	6.1%
3. 民生費	502,013	483,380	18,633	3.9%
4. 衛生費	416,247	425,275	9,028	2.1%
5. 労働費	80	80	0	0.0%
6. 農林水産業費	407,164	392,232	14,932	3.8%
7. 商工費	105,780	118,058	12,278	10.4%
8. 土木費	326,549	354,603	28,054	7.9%
9. 消防費	155,949	140,317	15,632	11.1%
10. 教育費	540,093	477,899	62,194	13.0%
11. 災害復旧費	106	106	0	0.0%
12. 公債費	491,438	541,097	49,659	9.2%
13. 諸支出金	30,100	55,100	25,000	45.4%
14. 予備費	2,000	2,000	0	0.0%
歳出合計	3,591,000	3,574,000	17,000	0.5%

平成17年度特別会計予算

特別会計名	本年度予算	前年度予算	比較増減	伸率
国民健康保険特別会計	659,513	654,518	4,995	0.8%
老人保健特別会計	616,082	585,531	30,551	5.2%
簡易水道事業特別会計	106,320	124,289	17,969	14.5%
観光施設事業特別会計				
収益的収入	404,188	506,300	102,112	20.2%
収益的支出	401,600	506,107	104,507	20.6%
資本的収入	0	126,000	126,000	皆減
資本的支出	74,247	201,407	127,160	63.1%
農業集落排水事業特別会計	93,393	38,663	54,730	皆増
下水道事業特別会計	168,720	174,000	5,280	3.0%
介護保険特別会計	256,000	268,000	12,000	4.5%

一般会計当初予算額の推移



新年度がスタートし、前年に比べ一般会計が0.5%の増となりましたが、景気低迷が続く中、無駄を省き行政・村民が協力しあい、より良い村づくりのコンセプトを明確に持ち、暮らしやすい片品村となる事を願います。



土出 梅澤まつえさん (自営業)

今年度、国・県支出金が増えつつありますが、村税は前年同様減である。今後は全国的に予算減少が想像されるが、皆で原点に戻り、無駄をなくし、限られた予算を有効に活用して魅力ある片品村になればと思います。



東小川 宮田 森さん (自営業)

新年度予算に思う

各地区の決意表明

「小さな自治」活動報告会を開催しました



分たちの地区で取り組んでいこうと決めたことを発表していただきました。言ってみれば各地区の決意表明です。

なお、発表していただいた方と地区の将来像等については次のとおりです。

○**第一区**
第一区「小さな自治」運営委員会 会長 戸丸廣安
将来像
やさしい花とふるさとづくり人づくり

○**第二区**
第二区地域自治計画運営委員会 地域担当リーダー 桑原和一
将来像
明るく、うるおいのある生活を目指す

○**第三区**
第三区長 今井 功
基本目標
人づくりをしながら自然と共生して豊かな暮らしをつくる

○**第四区**
東小川地区地域づくり委員会 書記 狩野孝夫
将来像
やさしい笑顔と水の里 東小川

○**第五区**
第五区長 入澤良多
将来像
アンケートの結果を尊重しこれから決定

○**第六区**
第六区「小さな自治」運営委員会 会長 梅澤謙蔵
将来像
緑豊かな人にやさしい土田

○**第七区**
第七区 組長 萩原浩
今後取り組み事業
まちづくり交付金 都市再生計画

○**第八区**
第八区 区長代理 星野逸雄
将来像
緑の町 かまた ーにぎやかな祭りー
あいさつ運動の励行、花いっぱい運動の推進、環境問題(特



活動報告

分となつていきます。

これからは、助成金の使途については花苗等の購入に充てるなど有効に活用する必要があります。

以上のとおり中間報告を受けましたが、引き続き

一、花と緑の谷づくりの推進

二、歴史的建造物の保全

について、審議を進めていただきます。

また、三月二日には、広東省

馬泉農業局・高崎地区・草津地区・片品地区・水上地区の観光情報について、それぞれの担当

者が説明を行いました。

中国からの観光客は大幅に増加傾向にあります。また、訪日

観光客が一番多い地域は広東省です。(北京二十一・五%、上海十三・五%、広東省六十五%)

広東省は、北京と比較して暑い地域であり、雪も有効な観光資源となり、群馬の冬場の観光客増加にも大いに期待が持てます。

右肩上がりの経済発展が続いている中国の力強さには目を見張るものがあります。これから

「日本への観光客が伸びる土壤がある」と実感しました。

今後、県と一緒に、

にゴミの問題)などは多くの区

の具体的な行動計画になりました。

これらは、青少年健全育成

運動の推進や花の谷構想の推

進、道路愛護や環境美化運動

など、今まで行われてきた活動

です。新しい事業ではありません

が、今後も引き続き地区として

重点的に取り組んでいこうと再確認をしたことに大きな意味があると思います。

いよいよ、「小さな自治」の具体的な活動が各地区で動き始めます。

今後、各地区において、より

具体的な計画が策定され、地区

の将来の目標に向かい、力を合

わせてむらづくりが行われるこ

とを期待します。

また、第三次片品村総合計画

には、地域の皆さんが作りあげ

た、地域自治計画を盛り込んで

で行きたいと考えています。

(むらづくり観光課

助成団体には、全国で二十二

「地元資源活用促進事業」(実施

主体は尾瀬三ヶ峰高原の会)に

日本財団から、助成金が交付さ

れることが決定しました。

平成十七年度に第一区が行う

「地元資源活用促進事業」(実施

主体は尾瀬三ヶ峰高原の会)に

日本財団から、助成金が交付さ

れることが決定しました。

また、第三次片品村総合計画

には、地域の皆さんが作りあげ

た、地域自治計画を盛り込んで

で行きたいと考えています。

(むらづくり観光課

日本からは大阪、北海道、福

島、九州、群馬県が参加しまし

た。群馬県からは、県職員その他

群馬県観光協会・群馬県温泉旅

館協同組合・水上町議会・草津

町・片品村が参加し、群馬県の

観光宣伝を実施しました。

また、三月二日には、広東省

旅遊局・旅行社・新聞、テレ

ビ等のマスコミ関係者を招いて

「観光群馬商談会」が開催され

団体が選ばれました。

第一区で行う事業の概要は次のとおりです。

○事業名

尾瀬のふもとのからし再発見

○事業の概要

一、「尾瀬三ヶ峰高原」内に存

在する古道・自然神・石仏等

について現地調査を行うとともに

地域のお年寄りなどから聞き取

りを行い、データを記録ならび

に整理します。

二、「風土と住まい」について

現地調査を行うとともに地域の

お年寄りなどから先人の暮らし

と歴史について聞き取り、デー

タを記録ならびに整理します。

なお、「地元資源活用促進事

業」については、昨年八月に、

各区長さんを実施希望をお聞き

したところ、第一区から実施希

望がありました。第五区、第三

区は、すでに実施しております。

(むらづくり観光課

温泉やスキー場、観光農業、特

産品などのPRを続けるととも

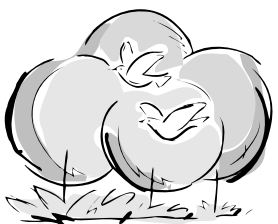
に、受け入れ態勢の整備を図っ

ていく必要があると思います。

(むらづくり観光課

商談会の様子(現地の観光関係

者とマスコミ取材の様子)



中国で片品の観光宣伝

県観光物産課が群馬県の観光

PRのため中国広東省で開催さ

れた国際旅行見本市「2005

広州国際旅遊展」に初出席

しました。

見本市は、世界中から二十三

カ国が参加し、三月四日から六

日までの三日間、広州市で開催



観光展の群馬県コーナーの様子



商談会の様子(現地の観光関係者とマスコミ取材の様子)



活動報告

花と緑の谷づくりの推進について

片品村では、第二次総合計画

で掲げてあります将来像「遙か

なる 花の谷 微笑みの住む郷

に」を目標として進めてきまし

た花の谷づくり事業は、今年で

七年を経過しました。

花植え等を通じて地域・人の

連帯感が生まれ、村民一人一

人の景観に対する意識も高まり、

各地域での自主的な取り組みも

実施されています。

村としては、花の谷づくり事

業の第一段階は終了したと考

え、新たな花の谷づくり事業の

推進方法等について、景観審議

会に諮問いたしました。

三月二十四日に、景観審議会

から中間報告がありましたので、

その内容をお知らせいたしま

す。

(景観審議会三回開催

○諮問の概要

片品村から景観審議会に諮問

一、花と緑の谷づくりの推進

二、歴史的建造物の保全

○中間報告の概要

一、花と緑の谷づくりの推進に

ついて

二、歴史的建造物の保全

三、景観形成助成金について

毎年、景観形成助成金として

各区長に十五万円支給してい

ます。この助成金は、地区ぐる

みの花づくり、または、緑化活

動に有効活用していただくため

に支給しています。

各区の助成金実績報告による

と、花植活動等の際の弁当代や

ジュース代などの支払いが大部

を占めています。

また、行政は各区の組織づく

りに対し、情報提供や交流体制

整備など支援することが必要で

す。

②資材支給について

住民の景観についてのきつ

かけづくりを目的とした花苗等

の資材支給を行ってきました。

今後は、各地区において、種

取りや球根・宿根草・花木など

を住民同士で譲り合うなど、創

意工夫することにより、村から

の資材支給に頼らない方法を検

討する必要があります。

③景観形成助成金について

毎年、景観形成助成金として

各区長に十五万円支給してい

ます。この助成金は、地区ぐる

みの花づくり、または、緑化活

動に有効活用していただくため

に支給しています。

各区の助成金実績報告による

と、花植活動等の際の弁当代や

ジュース代などの支払いが大部

を占めています。

また、行政は各区の組織づく

りに対し、情報提供や交流体制

整備など支援することが必要で

す。

②資材支給について

住民の景観についてのきつ

かけづくりを目的とした花苗等

の資材支給を行ってきました。

今後は、各地区において、種

取りや球根・宿根草・花木など

を住民同士で譲り合うなど、創

意工夫することにより、村から

の資材支給に頼らない方法を検

討する必要があります。

③景観形成助成金について

毎年、景観形成助成金として

各区長に十五万円支給してい

ます。この助成金は、地区ぐる

みの花づくり、または、緑化活

動に有効活用していただくため

に支給しています。

各区の助成金実績報告による

と、花植活動等の際の弁当代や

ジュース代などの支払いが大部

を占めています。

また、行政は各区の組織づく

りに対し、情報提供や交流体制

整備など支援することが必要で

す。

②資材支給について

住民の景観についてのきつ

かけづくりを目的とした花苗等

の資材支給を行ってきました。

今後は、各地区において、種

取りや球根・宿根草・花木など

を住民同士で譲り合うなど、創

意工夫することにより、村から

の資材支給に頼らない方法を検

討する必要があります。

③景観形成助成金について

毎年、景観形成助成金として

各区長に十五万円支給してい

ます。この助成金は、地区ぐる

みの花づくり、または、緑化活

動に有効活用していただくため

に支給しています。

各区の助成金実績報告による

と、花植活動等の際の弁当代や

ジュース代などの支払いが大部

を占めています。

また、行政は各区の組織づく

りに対し、情報提供や交流体制

整備など支援することが必要で

す。

②資材支給について

住民の景観についてのきつ

かけづくりを目的とした花苗等

の資材支給を行ってきました。

今後は、各地区において、種

取りや球根・宿根草・花木など

を住民同士で譲り合うなど、創

意工夫することにより、村から

の資材支給に頼らない方法を検

討する必要があります。

③景観形成助成金について

毎年、景観形成助成金として

各区長に十五万円支給してい

ます。この助成金は、地区ぐる

みの花づくり、または、緑化活

動に有効活用していただくため

に支給しています。

各区の助成金実績報告による

と、花植活動等の際の弁当代や

ジュース代などの支払いが大部

を占めています。

また、行政は各区の組織づく

りに対し、情報提供や交流体制

整備など支援することが必要で

す。

②資材支給について

住民の景観についてのきつ

かけづくりを目的とした花苗等

の資材支給を行ってきました。

今後は、各地区において、種

取りや球根・宿根草・花木など

を住民同士で譲り合うなど、創

意工夫することにより、村から

の資材支給に頼らない方法を検

討する必要があります。

③景観形成助成金について

毎年、景観形成助成金として

各区長に十五万円支給してい

ます。この助成金は、地区ぐる

みの花づくり、または、緑化活

動に有効活用していただくため

に支給しています。

各区の助成金実績報告による

と、花植活動等の際の弁当代や

ジュース代などの支払いが大部

を占めています。

また、行政は各区の組織づく

りに対し、情報提供や交流体制

整備など支援することが必要で

す。

②資材支給について

住民の景観についてのきつ

かけづくりを目的とした花苗等

の資材支給を行ってきました。

今後は、各地区において、種

取りや球根・宿根草・花木など

を住民同士で譲り合うなど、創

意工夫することにより、村から

家族がいっきぎと働く

環境づくりのために！ 五組の農家が家族経営協定調印

三月二十四日、役場会議室で家族経営協定合同調印式が行われました。

家族経営協定は、女性や若い農業者等が農業を職業として意欲を持って取り組めるような農業経営や農家生活を目指すのが目的です。

この日協定を調印したのは、それぞれ認定農業者としても優れた農業経営を実践されている五家族のみなさん。これで村内では十三組の農家が家族経営協定を結んだこととなります。

協定の内容は、これまで不明確だった休日や報酬、労働時間などを家族で話し合い、協定書に記載していきます。

調印式では、農業委員会長の



調印式の様子

ほか、議長、農協組合長及び利根農業総合事務所経営普及部長らが立ち会いののもとで、ご家族の皆さんが家族経営協定書に署名、捺印。その後お互いに協定書を取り交わしました。

この日協定を取り交わした5家族の経営主と、経営作物などを紹介します。

経営主	地区	主な経営作物
星野照明さん	菅沼	大根、紫陽花
小林倉義さん	築地	大根、ブルーベリー、花
千明要一さん	下平	大根、肉用牛、きゅうり、切り花
千明大平さん	東小川	トマト、大根
入澤与志男さん	越本	大根、トマト

式の中では、出席した農家を代表して小林倉義さんが「地域農業の活性化に向けて頑張りたい。」と決意のこたばを述べました。

また、農業委員会の星野實会長は「家族経営協定農家として、家族でしっかり目標を話し合いながら、村の農業発展のために

頑張っていたいただきたい。」と協定農家を激励しました。村では、これからも積極的に家族経営協定の普及を進め、より合理的で近代的な農業経営に取り組み農家を支援していきます。



5家族で記念撮影

一行は、観光協会や花の駅の職員も含めて十名。朝六時四十分には越本細工屋を出発、また雪深いダゴジ沢沿いをかんじきやスノーシューを履いて登りました。何度かの休憩を経て、塗川へたどり着いたのは十一時頃。約四時間という道のりでした。

その昔、私たちの先人は、この峠道を使い、牧場へ牛をつれていったりしたそうです。途中、動物の足跡があったり、湧き水があったりなど、とてもほのぼのとした街道でした。今回は、雪のあるうちに地形や周囲の概要を調べることを目的に歩きまわりましたが、今後、新たな観光資源としての街道復活へなれば良いと、参加者は話しておりました。これからの話し合いに注目したいと思います。



ダゴジ越え（越本花咲） ウォーキング

三月二十八日（月）、片品高原旅館組合、武尊民宿組合及び武尊ペンション組合の三つの組合合同により、観光資源発掘の試みとして、越本から花咲へ通じる旧道を歩くイベントが行われました。

子育て講座

北小会場 2月25日

「今の食事が大事」をテーマとして、沼田市給食センターの栄養専門員牧野光恵氏に講演していただきました。

- ・必ず朝ご飯を食べて
- ・おやつは、時間を決めて
- ・飲み物は、お茶、麦茶、牛乳 など

小学生の食事に対する留意点をお話いただきました。

参加者の感想を紹介します。
・食事は、毎日の事なのでためになりました。

・一年生になったら、起床の時間に気をつけたいと思います。



南小会場 3月10日

「小学生の心理と親の接し方―臨床心理士の立場から―」をテーマとして、臨床心理士加藤昌弘氏に講演していただきました。



講演の中で、生きる力を持った子どもに育てるために大切なことを次のように話していました。

- ①子どものコミュニケーション力をつける。
- ②折り合いをつけることを子どもに学ばせる。
- ③「理不尽」なことが、社会の中にあることを子どもに教える。
- ④子どもと親の約束は、「親のしてほしいこと」でなく「子ども

婦人会役員 老人ホーム訪問

三月三日（木）に婦人会役員十九名で老人ホーム訪問を行いました。



今年も、摺瀨の特別養護老人ホーム桜花苑を訪問し、五支部役員による踊り「おらが村童頭」の披露やお年寄りの方と一緒に懐かしい童謡や唱歌を歌ったり、手遊びをしたり交流を行いました。入所者の皆さんやデイサービスに来ているお年寄りの方々が私たちの未熟な歌にあわせて一生懸命に拍手をして下さり感激しました。

また、お忙しいなか丁寧に対応くださいました施設職員の皆様大変ありがとうございました。

また、二月十六日（水）には村内寝たきり老人等介護者訪問も行いました。

第7回 花の駅かるた大会

三月二十五日（金）夕方六時三十分から花の駅・片品「花咲の湯」のイベントホールにおいて上毛かるた大会を行いました。七十六名と多くの子供達も参加しました。子供達だけでなく審判・読み手など大人の方々にも参加して頂き、本当にありがとうございました。



尾瀬情報センター の紹介



今年二月、尾瀬高等学校に尾瀬情報センターが開所されました。この情報センターは、その名のとおり尾瀬や自然環境の情報を収集、整理しホームページ上で全国に発信していくという素晴らしい施設です。データベースに地理情報システム(GPS)を駆使して、生徒が実習をとおして調査した尾瀬や動植物の植生をデータにして継続的に蓄積していくものです。

併せて学校では、科目履修生も受け入れていきます。今年度の募集は終了しましたが、ホームページ上で要項が閲覧できますので、興味のある方はインターネットか尾瀬高校までお問い合わせ下さい。 ☎56-2310

▼結果▲

- 高学年 団体の部 優勝** 笠原 聡美
- 低学年 団体の部 優勝** 山崎 薫
- 第一部 団体の部 優勝** 星野 由朔
- 第二部 団体の部 優勝** 八須賀 峻太
- 高学年 個人の部 優勝** 星野 直樹
- 低学年 個人の部 優勝** 星野 さつき
- 第一部 個人の部 優勝** 高山 佑美

平成十七年度 役員の皆さんよろしくお願ひします

- ◎区長**
 第一区長 桑原健一郎
 第二区長 三浦良次
 第三区長 高山悦夫
 第四区長 須藤力夫
 第五区長 笠原勝男
 第六区長 吉野新太郎
 第七区長 萩原浩
 第八区長 星野逸雄
- ◎区長代理**
 第一区長代理 堀澤功一
 第二区長代理 飯塚米三
 第三区長代理 星野重吉
 第四区長代理 星野育司
 第五区長代理 笠原一利
 第六区長代理 星野明
 第七区長代理 萩原義春
 第八区長代理 須藤大
- ◎組長**
 須賀川 星野可宏
 御座人 桑原信一
 菅沼 大竹伸幸
 築地 千明幸市郎
 下平 渡辺保広
 摺淵 飯塚米三
 幡谷 三浦良次
 登戸 星野武士
 栃久保 戸丸武之
- 鍛冶屋 星野宏和
 山崎 星野磯次
 栗生 星野重吉
 針山 千明博治
 上小川 倉田剛
 穴沢 阿部義孝
 中井 吉野勝
 下小川 高山浩作
 太田 須藤和弘
 細工屋 入澤和也
 阿村 入澤和弘
 上而 笠原康成
 中里 笠原千市
 新井 本多保行
 古仲 中山孝一
 伊閑町 萩原藤雄
 閑野 吉野靖
 戸倉 萩原和美
 鎌田一 青木正美
 鎌田二 深見俊也
 鎌田三 萩原信男
 鎌田四 芝崎護
 鎌田五 千明稔
- ◎消防団員**
 団長 星野充雄
 副団長 星野豊保
 副団長 入澤与志男
 副団長 三浦忠志

教職員人事異動

- ラッパ長 佐藤 実
 第一分団長 須賀川 松井 一則
 第二分団長 幡谷 桑原 一禎
 第三分団長 鍛冶屋 星野 誠
 第四分団長 下小川 須藤 芳司
 第五分団長 太田 林 金三
 第六分団長 閑野 小林 政彦
 第七分団長 戸倉 萩原 勇
 第八分団長 鎌田 井上 正紀
- ◎交通指導員**
 隊長 中畑 一也
 副隊長 萩原有朋
- 転出された皆さん大変お世話になりました。転入された皆さんよろしくお願ひします。
- 片品小学校**
 ◎転出
 教諭 星野希久枝(利根東小)
 林 祐二(升形小)
 春日 大(東京都)
 介助員 小林由紀枝(退職)
 ◎転入
 教諭 石川 淳子(沼田小)
 倉品 健(沼田北小)
- 星野純一(月夜野中) 介助員
 笠原さゆり(新採用) 教諭
片品北小学校
 ◎転出
 教頭 堤 義樹(昭和申)
 教諭 横山ひとみ(利根東小)
 松尾 直之(富士見時沢小)
 千明サト子(武尊根小)
 ◎転入
 教頭 高井 信彦(池田小)
 教諭 中村 秀雄(利根西小)
 津久井仁美(池田小)
- 片品南小学校**
 ◎転出
 校長 田村 和夫(川場小)
 教諭 吉野あかね(古馬牧小)
 石原 一郎(昭和南小)
 ◎転入
 校長 川田 幸夫(中之条第四小)
 教諭 高橋 直美(桃野小)
 金井 久夫(沼田南中)
- 武尊根小学校
 ◎転出
 教諭 杉木 佳子(沼田東小)
 事務主事 清水 洋平(沼田中)
 ◎転入
 教諭 小林 康子(沼田北小)
 千明サト子(片品北小)
 事務主事 飯塚 裕俊(新採用)
- 片品中学校**
 ◎転出
 教頭 小林 仁史(薄根中)
 教諭 桑原 昭夫(沼田小)
 宇佐美陽子(新町第一小)
 力丸 忠史(太田生品中)
 大島 康輔(沼田東中)
 心の教育相談員 相澤 尚治(退職)
 ◎転入
 教頭 武井 修(利根教育事務所)
 教諭 秋元 秀文(沼田中)
 渡辺 潤(藤岡小野中)
 金子 平(新採用)

就任のご挨拶



聞く力・働く力・夢見る力
 須藤 澄夫

新しく教育長に就任いたしました須藤澄夫でございます。浅学非才ですが、村民の皆様どうかよろしくお願ひいたします。また、このたびは星野村長、田邊議長をはじめ議員各位にご尽力を賜りまして、深く敬意を表する次第であります。

さて、労働期の晩年をふるさとのために捧げることができるとは私にとって喜びです。教育の世界は学校教育、社会教育、家庭教育、どの分野においても艱難辛苦のなかにありますが、しかし教育が楽であった時代は歴史上ありません。その点で私

は楽観主義者です。大変だからこそ楽しく働きたいと思っております。

つぎに、教育とは何かということについて私なりの考えを明らかにしておきます。教育とは子どもたちに希望をもたせることです。子どもたちが希望をもつことは大人たちの生き甲斐にもつながります。

換言すれば、教育とは現在を通して未来に働きかけることです。それは、私たちやこの地球が、子どもたちや未来からの借り物であるからです。この借り物をいま以上に磨いて返すのが教育という営みです。

その営みの方法はさまざまあるわけですが、分かっていることが一つあります。教育する者が学ぶ姿勢のないところに良い教育はありえないということです。そのためにも、教育委員会事務局が学ぶ姿勢「聞く力、働く力、夢見る力」をもつよう努力いたしますので、皆様ご協力の程よろしくお願ひします。

役場職員 人事異動

- ◎総務課**
 主任 鈴木 幸光(教委)
 主任 大竹 篤保(議会)
- ◎住民課**
 課長 井上光三郎(税務)
 課長補佐 星野たか子(住民)
 係長 星野 義則(税務)
 係長 山崎 康広(経済)
 係長 三浦さく子(税務)
 係長 梅澤 康明(税務)
 主任 星野 咲織(会計)
- ◎保健福祉課**
 課長 星野 宏彦(保健)
 課長補佐 星野あき江(保健)
 課長補佐 星野 一男(教委)
 係長 倉田 秀和(住民)
 係長 狩野 久良(ダム)
 主任 星野 照子(保健)
 主任 高山さおり(住民)
 主任 星野 賀代(住民)
- ◎健康管理センター**
 保健師 星野 市子(保健)
 保健師 住谷 真里(保健)
 保健師 黒澤 郁美(保健)
 主任 星野 由里(保健)
- ◎片品保育所**
 課長補佐 星野都喜子(片保)
 係長 星野 とみ(片保)
 係長 原沢 千歳(片保)
 係長 鹿野三枝子(片保)
 保育士 佐藤日出美(北保)
- 星野純一(月夜野中) 介助員
 笠原さゆり(新採用) 教諭
片品北小学校
 ◎転出
 教頭 堤 義樹(昭和申)
 教諭 横山ひとみ(利根東小)
 松尾 直之(富士見時沢小)
 千明サト子(武尊根小)
 ◎転入
 教頭 高井 信彦(池田小)
 教諭 中村 秀雄(利根西小)
 津久井仁美(池田小)
- 片品南小学校**
 ◎転出
 校長 田村 和夫(川場小)
 教諭 吉野あかね(古馬牧小)
 石原 一郎(昭和南小)
 ◎転入
 校長 川田 幸夫(中之条第四小)
 教諭 高橋 直美(桃野小)
 金井 久夫(沼田南中)
- 武尊根小学校
 ◎転出
 教諭 杉木 佳子(沼田東小)
 事務主事 清水 洋平(沼田中)
 ◎転入
 教諭 小林 康子(沼田北小)
 千明サト子(片品北小)
 事務主事 飯塚 裕俊(新採用)
- 片品中学校**
 ◎転出
 教頭 小林 仁史(薄根中)
 教諭 桑原 昭夫(沼田小)
 宇佐美陽子(新町第一小)
 力丸 忠史(太田生品中)
 大島 康輔(沼田東中)
 心の教育相談員 相澤 尚治(退職)
 ◎転入
 教頭 武井 修(利根教育事務所)
 教諭 秋元 秀文(沼田中)
 渡辺 潤(藤岡小野中)
 金子 平(新採用)
- ◎生活環境課**
 課長 笠原 市雄(社協)
 課長補佐 小林 恵一(建設)
 係長 萩原 正夫(建設)
 係長 武藤 秀文(保健)
 係長 須藤 育美(住民)
 主任 須藤 幸夫(ダム)
 主任 萩原 一彰(経済)
 主任 川合 美孔(建設)
- ◎農林建設課**
 課長 星野 芳弘(ダム)
 課長補佐 吉野 耕治(むら)
 係長 星野 朋美(税務)
 係長 萩原 明富(総務)
 主任 金子 学(建設)
 主任 戸丸 幸生(経済)
 主任 金子小百合(むら)
- ◎環境課**
 主任 山下 雅子(経済)
 高橋 正治(建設)
 押切 恵(保健)
- ◎国体事務局**
 主任 中村 学(住民)
 主任 星野 一忠(経済)
 大坪 哲(高体)
 (群馬県より)
- ◎出納室**
 出納室長 大竹 将彦(教委)
 (収入役職務代理)
- ◎教育委員会事務局**
 次長 桑原 和一(経済)
 係長 千明建太郎(総務)
 主任 高山 昭弘(税務)
- ◎社会福祉協議会**
 局長 田村 利夫(住民)
- ◎派遣終了**
 山口刀志彦(総務)
 山下 雅子(経済)
 (群馬県)
- ◎退職**
 高橋 正治(建設)
 押切 恵(保健)

第六区 優勝!

平成16年度
社会体育総合優勝

昨年四月のゲートボール大会で開幕した社会体育の区対抗戦も三月のスキー大会をもつて、平成十六年度の競技がすべて終了しました。
村民運動会をはじめ各競技において熱戦が繰り広げられた結果

果第六区が優勝で幕を閉じました。
平成十七年度もゲートボール大会を皮切りに、ソフトボール大会、村民運動会とそれぞれ熱戦が繰り広げられることでしょう。
なお、詳しい結果と平成十七年度の各区持点は別表のとおりです。

片品村社会体育総合優勝制度 平成16年度得点表

大会名	村長杯ゲートボール大会	ソフトボール大会	個人総合優勝	ゴルフ大会	野球大会	村民運動会	スキー大会	獲得得点A	持ち点B	得点A+B	順位
第1区	順位 2 得点 7	7	1	2	5	5	4	34.5	14.5	49.0	4
第2区	順位 7 得点 2	2	7	8	5	8	6	18.0	36.0	54.0	2
第3区	順位 4 得点 5	5	2	6	3	4	8	30.0	12.0	42.0	8
第4区	順位 5 得点 4	4	6.5	3	5.5	5	1	31.0	15.0	46.0	7
第5区	順位 1 得点 8	1	2	4	1	1	1	51.5	0.0	51.5	3
第6区	順位 8 得点 1	8	5	1	3	6	2	30.0	29.0	59.0	1
第7区	順位 6 得点 3	6	7	7	5	7	4	18.5	29.0	47.5	5
第8区	順位 3 得点 6	3	4	3	2	2	7	38.5	8.0	46.5	6

翌年度各区持ち点：不参加種目については、その得点は「0」であるが、持ち点計算上は6位と7位の中間得点「2.5」を獲得したものと、次年度持ち点から差し引く。

翌年度各区持ち点

第1区	第2区	第3区	第4区	第5区	第6区	第7区	第8区
17.0	33.5	21.5	20.5	0.0	21.5	33.0	13.0

区対抗スキー大会 兼 片品スキー選手権大会

三月二十三日(水)、サエラスキーリゾート尾瀬において各区の代表選手と選手権申込者約八十名が参加し、第十六回区対抗スキー大会兼第三十六回片品スキー選手権大会が開催されました。
役員、選手の皆さん早朝より大変ご苦労様でした。
結果は次のとおりです。

★区対抗

優 勝 第五区
準優勝 第六区
第三位 第四区

★片品選手権

成年男子A
優 勝 星野 敦貴(6区)
準優勝 戸丸 正孝(3区)
第三位 高橋 政樹(1区)
成年男子B
優 勝 三浦 幸治(2区)
準優勝 吉野 良孝(6区)
第三位 笠原 学(5区)
成年男子C
優 勝 星野 博(3区)
準優勝 千明 邦昭(8区)

個人総合優勝

男子 三浦 幸治(2区)
女子 星野 玉江(4区)

成年女子B

優 勝 萩原美千代(6区)
準優勝 入澤すみ江
第三位 千明 京子(1区)

成年女子A

優 勝 星野 玉江(4区)
準優勝 笠原 和(5区)
第三位 千明 京子(1区)

壮年A

優 勝 戸丸 志郎(3区)
準優勝 星野 祥(1区)
第三位 星野 和雄(3区)

壮年B

優 勝 入澤 長二(5区)
準優勝 星野 政雄(2区)
第三位 萩原 始(7区)



匠

13

今日の匠

沼野 健 輔さん
須賀川(バックカントリーガイド)



西吾妻を登る沼野さん

沼野さんは茨城県高萩市で和菓子職人の長男として生まれました。二十二歳の時、戸倉スキー場でアルバイト中、スノーボードメーカーの契約選手選考会に飛び入りで参加。見事パートナー契約選手となる。二十五才から四年間ハーフパイプのワールドカップに出場した。平成十三年五月、利根郡内の知人に誘われて登った至仏山、頂上から見た景色が、生涯最高の感動だった。六月には鎌田の知人に利根村のアパートを世話してもらい引越した。仕事は戸倉スキー場の元上司にガイド協会の松浦さんを紹介された。山岳と気象・植生を勉強するうちに尾瀬に魅了されていった



戸倉スキー場を滑る沼野さん

平成十四年からトライフォース(三つの力)というバックカントリーガイド(雪山ガイド)を三人で立ち上げた。

滑走技術の沼野さん、雪崩・気象の知識豊富なB氏、救助技術を持つ現役のマウンテンバイクワールドカップ選手。三人の力は「三本の矢」のごとく極限の大自然で力を発揮する。

今、雑誌等で冬山を気軽に紹介しているが、自然は常に変化している。しかも単独で冬山に入るのは自殺行為だ。周到な準備があっても遭難の危険がつきまとう。沼野さんは、そんな危険を回避し、お客さんを安全に、しかも最高の感動を提供していきたいという。

現在は村営住宅に家族三人で住んでいる。片品は森があり、田がある。茨城の実家から消えていってしまう自然がここには

あり、落ち着くという。「子ども達にスノーボードを教える」と最後に語った。



かぐら山頂上にてお客さんと

片品中学校卒業式

平成十七年三月十一日、片品中学校第五十八回卒業証書授与式が、片品中学校体育館において行われました。卒業認定生徒数、男子三十六名女子三十四名、合計七十名で全員です。その中で三ヶ年皆勤生徒十三名でした。

また卒業生全員が進学希望、一つの時代を感じます。開会の辞に続いて、国歌・校歌の斉唱。皆しつかりと歌っていました。卒業証書授与、一人一人、校長先生より凛とした清々しい態度で受け取っていました。新し

国保だより

国民健康保険の加入者を対象に 人間ドックの検診費を助成

国民健康保険(国保)加入者を対象に人間ドック検診費を助成します。自分が健康だと感じているときから、検診を受けることが大切です。特に生活習慣病は長い間、病気の進行に気付かない例が多くあります。年に一度は、検診を受け自分の体をチェックしましょう。

【期間】 4月～3月
【対象】 満40歳以上70歳未満の方で国民健康保険に加入しており国保税完納世帯の人
・日帰りコース・1泊2日コース各先着50人
【助成額】 検診費の3分の2で日帰りコースが2万6千円を限度・1泊2日コースが4万を限度として助成します。
【申し込み】 4月1日から随時受け付けますので、必ず申し込みをしてから検診を受けてください。

の皆さんに心から感謝いたしました。本当にありがとうございました。未来にしっかりと恩返しをしたいと思えます。心に残る答辞の中の言葉でした。別れの曲「仰げば尊し」を歌う卒業生の瞳に涙が光っていました。
(広報リポーター 千明政夫)



仰げば尊しを歌う卒業生

図書室カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	2	3	4	

*火～金曜日午後1時～5時開室
*■はお休みです。

読んでみませんか

『夜のピクニック』 恩田 陸 著

夜を徹して80キロを歩き通すという、高校生活最後の一大イベント「歩行祭」。生徒たちは親しい友人とよもやま話をしたり、想い人への気持ちを打ち明け合ったりして一夜をすごす。そんななか、貴子は一つの賭を胸に秘めていた。三年間わだかまった想いを清算するために・・・



命名

画数にこだわり、名前を考えました。女の子と分かったもののなかなか候補が浮かばず、命名の本を読みあさり、やっと選びました。

将来どんな人になってほしいですか

いつも笑顔で明るく素直な子に育ってほしいです。広い視野を持ち、信じた道を真っ直ぐ進んでいけるよう親として手伝ってきたいです。

みのり
美順 ちゃん (H16. 4. 16生)
田邊 伸幸・由起子さん (下平)のお子さん



3月29日 (火)
沼田土木事務所
管轄の国道120号
(金精道路) 除雪
状況の視察が行
われました。菅
沼付近で軒下ま
でありました。

しら くら なぎさ No.106
白 倉 渚 さん 花咲 (19才)



母：ミサ子さん
■**職業は何ですか**：花の駅・片品「花咲の湯」で働いています。
■**趣味は何ですか**：ショッピング・スノーボード
■**片品をどう思いますか？、又、どうしたいですか**：片品村は自然が多く、静かな良い村だと思います。多くの人に片品村の良さを知ってもらえるよう心がけて働いています。若い人が頑張って活気のある村になると良いと思っています。
冬だけじゃなく他の季節も片品村には片品にしかない良いところが、たくさんあるので若い人達から年輩の方まで楽しんで癒される片品村になってほしいと思います。
■**好きな異性のタイプ**：明るい人

4月から役場業務の配置が変わりました。

【役場庁舎 1階】

住 民 課	1	カ ウ ン タ ー
保 健 福 祉 課	2	
生 活 環 境 課	3	
農 林 建 設 課	4	
事 業 課	5	
むらづくり 観 光 課	6	
総 務 課	7	
総 務 課	8	

【役場庁舎 2階】

議 会 事 務 局

【中央公民館 2階】

教 育 委 員 会 事 務 局
国 体 事 務 局

※各課の業務内容につきましては、広報かたしな3月号をご覧ください。

◆休日の病院◆

4月16日(土) 内田病院	5月1日(日) 内田病院
17日(日) 国立沼田病院	5日(木) 国立沼田病院
23日(土) 沼田脳神経外科	7日(土) 国立沼田病院
24日(日) 利根中央病院	8日(日) 沼田脳神経外科
29日(金) 沼田脳神経外科	14日(土) 利根中央病院
30日(土) 月夜野病院	15日(日) 月夜野病院

今月の納期は

国民健康保険税 第1期
納期は **5月2日(月)** です

窓 口 から

二月二十日～三月十九日

おめでた

◆**結婚された方々** 四組

○大 加 藤 留 美 菅 沼	○山 田 久 詞 北 海 道	○金 井 崇 秀 東 小 川	○山 本 真 理 子 高 崎 市	○星 野 雅 志 新 治 村
----------------	----------------	----------------	------------------	----------------

◆**生まれた赤ちゃん** 四人

笠原 福松 男 航 越 本	武石 和雄 女 こころ 鎌 田	星野 剛司 女 真央 土 出	佐藤 毅 男 佳南 土 出
---------------	-----------------	----------------	---------------

おくやみ

亡くなられた方々 六人

星野 金之助 七 四 歳 花 咲	吉野 行子 八 三 歳 土 出	丸山 慶二 七 七 歳 土 出	久須美 辰雄 七 六 歳 東 小 川	梅澤 正夫 七 九 歳 土 出	星野 伊助 八 二 歳 花 咲
------------------	-----------------	-----------------	--------------------	-----------------	-----------------

広報紙のおめでた、おくやみの掲載方法の変更について

個人保護条例の制定に伴い、四月一日以降受付の出生・婚姻・死亡届について、広報紙への掲載を、片品村住民登録者で、掲載希望を申出た届に変更いたします。

掲載を希望される方は、戸籍届書を提出する際申出てください。

三月号の訂正

7ページ 距離 男子
誤 第六位 宮田 裕樹 (南小)
正 第六位 星野 潤 (片小)
第八位 星野 悠大 (武小)
潤 (片小)

ミニ情報

▼道路情報 (開通)
4/22 R 401戸倉交差点
4/25 R 120丸沼スキー場入口
4/28 戸倉津奈木橋く鳩待峠
▼水芭蕉開花情報
水芭蕉の森ライトアップ 4/29～5/4
大清水水芭蕉 ゴールデンウィーク